

議会だより

NO. 26

平成30年2月1日発行

氷川町議会

清流

ひかり



どんどや



だご汁



12月定例会

11月臨時会	p2
12月定例会	p3
そこが聞きたい 一般質問	p4
委員会報告	p8
新議員抱負	p12
スポット	p14

氷川町議会議員 新議会の構成が決まりました

改選後、初の議会（臨時会）が11月6日午前10時から開催され、議会議長に上田健一議長が選出され、次のように新しい議会の構成が決まりました。

新議会の構成

議長 上田 健一
副議長 三浦 賢治
監査委員 長尾 憲二郎

※総務文教常任委員会

委員長 清田 一敏
副委員長 河川 涼一
委員 吉川 義雄
長尾 憲二郎
木下 健一

※議会広報調査特別委員会

委員長 西尾 正剛
副委員長 木下 厚
委員 片山 裕治
清田 一敏

○い業議員連盟

会長 松田 達之
副会長 木下 厚
会計 清田 一敏

※産業建設厚生常任委員会

委員長 片山 裕治
副委員長 米村 洋
委員 三浦 賢達
松田 達之
上田 俊孝

○八代生活環境事務組合議会議員

河川 涼一
片山 裕治
米村 洋

○防衛議員連盟

会長 片山 裕治
副会長 西尾 正剛
会計 米村 洋

※議会運営委員会

委員長 米村 洋
副委員長 松田 達之
委員 三浦 賢達
片山 裕治
清田 一敏
西尾 正剛

○氷川町及び八代市中学校組合議会議員

上田 俊孝
長尾 憲二郎
清田 一敏
木下 厚

また、臨時会に提案された議案（専決処分）、氷川町一般会計補正予算（第3号）は、全員賛成で承認されました。
補正額は、おもに衆議院議員選挙費14,717千円の追加で歳入・歳出それぞれ7,573,099千円となりました。

平成29年第6回（H29・12）町議会定例会提出議案

条例 2件

議案第40号 氷川町農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の制定について
議案第41号 氷川町報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

議案第48号 指定管理者の指定について（氷川町竜北物産館）
議案第49号 指定管理者の指定について（氷川町まちづくり酒屋（センター））

予算 4件

議案第42号 平成29年度氷川町一般会計補正予算（第4号）について
議案第43号 平成29年度氷川町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について
議案第44号 平成29年度氷川町介護保険特別会計補正予算（第2号）について
議案第45号 平成29年度氷川町下水道事業特別会計補正予算（第2号）について

同意 3件

同意第4号 氷川町固定資産評価審査委員会委員の選任について
同意第5号 氷川町固定資産評価審査委員会委員の選任について
同意第6号 氷川町固定資産評価審査委員会委員の選任について
平成29年度第6回氷川町議会定例会議事日程（第3号の2）
平成29年12月12日（火）

その他 7件

議案第46号 指定管理者の指定について（宮原浄化センター）
議案第47号 指定管理者の指定について（氷川町立神峡公園）

追加日程第1議案第53号 工事請負契約の締結について
追加日程第2議案第2号 道路事業予算の総額確保等に関する意見書について

主な質疑

◆氷川町立神峡公園指定管理者の指定について

この管理者指定申請書の内容となっております。もう一団体は、以前に指定管理を受けられていた団体の関連したところで、事業をされていた方が、説明会に出席されていましたが、点数につきましては、控えさせても構いません。

平副町長 審査委員会の委員長としてお答えします。点数につきましては、情報公開の請求があれば公開できる数字ですが、具体的には申し上げられませんが、50%以上の点数を取得されかなり高得点でした。また、その他の適・不適の項目もありますが、これもすべて「適」となっております。最終的にこの団体は適正と審査会で判断しています。

平副町長 審査委員会の委員長としてお答えします。点数につきましては、情報公開の請求があれば公開できる数字ですが、具体的には申し上げられませんが、50%以上の点数を取得されかなり高得点でした。また、その他の適・不適の項目もありますが、これもすべて「適」となっております。最終的にこの団体は適正と審査会で判断しています。

吉川議員 わかりました。

こんなことが 決まりました！

廃署となった氷川警察署の跡地をどう利用するか



米村 洋 議員

警察官舎、公営住宅を建設できないか 質問の趣旨は、廃署となった敷地面積は約1,000坪あります。警察官の先輩方たちが62年間も地域の治安に貢献されました。その長年の恩に報いるために、町内にある現在の警察官舎が老朽化し、住居とする状態ではないところから、警察官の方々の明日への業務活動の源となる平均的・文化的な暮らしを維持するためには、氷川町警察官舎公営住宅を建設することが先輩警察官に對しての恩返しの一環となるかと思えます。また、熊本市町村における町営の警察官舎もモデル事業として、治安力の強化対策として、また移住・定住人口の増加策として、町民総意の賛同を得ることは間違いないと思えます。この敷地の所有権は、県が所有権を所有しているということであり、用地買収あるいは借地の方法もあるかと思えますが、この建設によって警察官の皆さんたちが独身者から妻帯者まで、特に妻帯者に対しては単身赴任というものがほとんどであります。こ

の建設によって、家族とともに楽しく暮らしができ、利便性を有し、また警察官を一極集中した住居とすることに、氷川町民の安心・安全な生活につながり、治安の強化と移住・定住の増加対策も兼ねていると確信しております。これについて、町長または担当課長よりご答弁、お願いいたします。

陳野総務課長 米村議員には日頃から人口増加あるいは活性化対策につきましてご指摘をいただいております。町外へ転出したしました職員の内への帰還もその一例でありまして、町行政を担当する職員といたしましていかにあるべきかを強く考えさせられ、大変苦慮しているところでございます。

そのなかで、今回、議員から人口増加と警察官の居住あるいは往來による治安力の維持をねらった警察官専用住宅の整備をご提案いただきました。氷川警察署跡地の活用につきまして、平成25年の警察署統合に係る県警からの説明会時にもその方法をお聞きしていたところでございますが、当

時にあっては白紙状態で、仮に売却する場合には地元である氷川町に最初に協議をさせていただき、また、県では既に行政財産から普通財産に変更をなされ、県財産経営課にて各部署への活用照会がなされ、そのなかで県文化課から熊本地震以降において文化財の保管場所が不足し、喫緊の課題となつておられるということ、その一時保管場所として活用したいという申し出があり、現在その方向で調整をされているというふうにお聞きをしております。警察署が統合し、そのうちに県から町に對して跡地活用についての協議があるだろうという考えで、町のほうから具体的な申し入れもせず、跡地を払い受け、住宅政策を実施しようと考えていたところでございますが、その具体性に欠けていたために現在まで県への協議申し出も行っていなかったことを大変悔やんでおります。しかしながら、本日、議員からご提案いただきました跡地の借地を含め、県における県有地の有効活用事業とも考えられま

すし、人口増加対策に取り組みます町施策とも合致することであり、あえて県に對して跡地活用の協議申し入れをさせていただきたいと考えているところでございます。

米村議員 県が所有権を持っていてということでありまして、県との協議をし、我が氷川町に機動センターができましたものの、通いの警察官だけではなく、地元で生活する地域密着警察官がいることで住民の皆様には大きな安心・安全を感じさせるものだと思います。そのためには、警察官の宿舎を整備することは大きな目的でもあるし、町の活性化を図るための人口増加対策は不可欠な事業であり、喫緊の課題であります。町議会も全力をあげてこの件についてはバックアップをしていかなければならないと思っております。そこで、町長においてもです。強いリーダーシップをもって取り組んでいただきたいと思います。町長、どうですか。その辺のこのころのしつかりした答弁



又、トップの発言というのは、すごく重たいものでありまして責任的な宿命を背負っていますので、この事業に對して緊急の課題として事業を推進していただきたいと思います。

一般質問



吉川 義雄 議員

氷川町の人口対策について 町内の交通機関整備計画はあるか

人口増対策として子育て支援と定住促進の住宅建設 全国各地の自治体が少子高齢化と人口の減少が進む中で、人口増・人口維持対策に取り組んでいます。その中には保育入園時に費用の一部を助成、保育料の助成、保育料を全額無償にしているところもあります。また、小中学校の給食費助成、小中学校の児童生徒、高校生への通学費助成など様々な取り組みがされています。奥多摩町(東京都)は人口5200人の小さな町ですが、いま述べた施策を沢山おこなっています。氷川町もこうした取り組みをすすめるべきと考えます。

氷川町が行った住民アンケートの結果が、町づくりニューズ第1号に掲載されています。その中に、今後氷川町が力を入れるべき取り組みの設問に對し「若者の定住や就職を促進する環境づくり」と答えた人が一番多くなっています。若者定住促進住宅の建設や宅地造成を考えるべきではありませんか。

野田町民環境課長 現在

政府が幼児教育の無償化に向けた取り組みとして多子世帯などの負担軽減を実施したところです。今後更段階的に無償化に取り組んでいくことになり、ますので、町としては保育料の助成は考えていません。

また、新年度に病児・病後児保育事業と子育て短期支援事業に取り組もうと考え、現在八代北部地域医療センターや八代市と話をすすめています。市町村で通学への助成を行っているところは主に過疎地域です。本町では考えていません。

岩本学校教育課長 給食費助成については、半額補助でも約3700万円の財源が必要で大変厳しいと思っております。

吉川議員 総合振興計画(素案)の中に人口増対策を取らなくてはなりません。奥多摩町では「少子化対策定住対策は高齢者を支える若い世代の人材がいなければ、消防団活動もできない。地域のコミュニティは成り立ちません。だから非常に大事なこと」と言っています。本町でできることから取り組

住宅政策も大切な人口増対策の一つとされている。藤本町長 私どもにできることをしっかりと考え、今進めているところです。氷川町独自の取り組みをこれからしっかりとやらなくてはならないと思っております。住宅政策も議会でも議論してきました。その結果として今があるわけです。

まち・ひと・しごと創生推進会議の中で民間の企業体と私どもと一緒に住環境整備ができていないかと思っております。住宅政策も大切な人口増対策の一つという認識でいますのでこれからも進めてまいりたいと考えています。

吉川議員 高齢者が運転する車の事故が多くなっています。このような中で運転免許証の返還が勧められていますが、町内の方が「免許証を返そうかと思うけど、役場に行くにもバスはない。タクシーでないと行けない。八代市はいいのができて

役場に行くバス路線はできないか

吉川議員 氷川町を走っているバス路線は国道3号、443号、県道156号、14号しか走っていません。八代市は東陽、泉、坂本、二見地区も隅々まで交通網が網羅されています。氷川町でも役場に行くバス路線が出来ないのかと思っております。

公共交通機関のあり方を検討していく

陳野総務課長 本町のバス路線は通過点という形で横断的に通過する路線が主で、バス路線の変更は厳しい状況があります。農免道路から国道への縦断路線を要望したら、その分の費用負担は地元負担ということでした。

氷川町の新たな交通施策を推進するための会議を開いて公共交通機関のあり方を検討していく必要があると考えています。バス路線の見直し、新路線の増設等については検討させていただきます。(他に町長選・町議選の結果について町長の認識を質しました。)

一般質問

商工業の振興策について



河口 涼一 議員

河口議員 商工業の振興策についてお尋ねします。起業された方や、現在事業をされている方の事業継続について、どんな方策がありますか。

平山商工観光課長 支援のために奨励金や補助制度があります。事業所奨励金として町内に事業所の新設や増設を対象としたものを設けています。さらに、創業支援事業で自己所有の土地、建物に限り、空き地活用した新設や空き店舗の内外装の改装等について対象の2/10、200万円を補助します。既に事業をされている方には店舗のリフォーム事業として、備品等の購入費に2/10、50万円を限度に補助します。28年度で（7件）306万3000円の実績です。

河口議員 事業者の進出や転入に対しての推進策はあるかお尋ねします。

平山商工観光課長 町内の空き店舗や空き家の情報提供をし、又、商工会と連携して対応しています。

河口議員 例えば起業を希望する人で若い人の斬新なアイデア、発想、行動力、また、中高年者の経験、技術、ノウハウや人脈と資金力を活用しての起業など見込まれます。私も東京で仕事をしている2人の息子達に帰郷して起業することをすすめているところです。ただ、対象事業者自身が土地・建物を所有していることが大前提であり、起業に当たっては、初期投資やランニングコストはできるだけ抑えたいところで、所有者限定の条件を見直してもらいたいと思います。

平山商工観光課長 賃貸借のケースについても検討したいと思います。

河口議員 更なる補助・奨励策を検討され、使いやすく効果が出るような策を望みます。

氷川町の出身者などの人脈ネットワークを活用するような方策はとっておられますか。

藤本町長 県人会や同窓会などに出向きPRに努めています。今後も積極的に取り組めます。

河口議員 氷川町は交通



国道3号線沿い

一般質問

学校エアコン設備の必要性和導入時期について



長尾 憲二郎 議員

長尾議員 近年の異常気象で教室の気温が30度以上の教室で勉強している。学校エアコン設備は、どうしても必要と思いい3月議会に続き再度質問します。

岩本学校教育課長にお尋ねします。

(一)今年の夏場、各教室の室内気温測定の結果を教えてください。

(二)各学校教室の空調設備増設の時期は、いつになりますか。

岩本学校教育課長 今年の夏場の、8月28日から9月1日温度調査結果で、小中学校普通教室の温度は、32度から34度でした。気象学会の日常生活に関する指数によると、28度から31度を厳重警戒、31度以上を危険としての温度基準、この様な状況もあり、学習環境を整える手段が喫緊であります。児童生徒の安心・安全に係る施設整備を優先し計画的に進めていきます。

長尾議員 太田教育長にお尋ねします。

学校施設改善で、空調設備（エアコン）について教育長のお考えをお尋ねします。

太田教育長 子供たちの教育環境、学習環境の整備は、教育委員会としても大きな責務と思えます。近年の暑さ対策は、児童生徒の健康を守る視点で熱中症対策等も検討します。

ランニングコストの話がありました。学校版環境ISOにも取り組んでおり、電気代の節約、節水、ゴミの減量化、給食の残菜ゼロ運動にも取り組んでいます。

授業中だけの使用で節電にも努力します。

長尾議員 町には小学校3校、中学校2校ありますが、どちらから先にやるかをお尋ねします。

藤本町長 小学校3校、中学校2校出来ればそれぞれの年度で2校、3校の順が一番よろしいと思います。

小学校と中学校、どちらが先かは教育委員会に議論をお任せしますが、高校受験を抱えている中学校を優先したいと思えます。



氷川中学校

の便も良く、住んでよし、訪れてよしと認められる町になるよう祈念して質問終わります。

当委員会に付託された案件につきまして、委員会における審査の結果並びに結果について、ご報告致します。

当委員会に付託された案件は、条例2件、予算4件、その他5件であります。

当委員会は、12月8日、役場2階大会議室で、関係課長より説明を求めながら議案審査を行いました。

米村議員 議会最終日12日の議会採決前に行う全員協議会において、わかりやすく、又、規則の概要も詳しく説明するようにと意見がありました。

西尾議員 次に、農地利用最適化交付金として10/10が国から交付され

西尾議員 上水道の漏水なので、**前崎建設下水道課長** 床下に浸透する不明水の調査業務です。

議案第43号 平成29年度水川町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

議案第44号 平成29年度水川町介護保険特別会計補正予算(第2号)

西尾議員 議案第47号 指定管理者の指定について(水川町立神峡公園)

平山商工観光課長 選定項目に沿った採点表により、それぞれの審査員が審査した評点の合計が、800点中551点で、点数的にも、団体の名称は立神峡里地公園管理運

能率額の財源に充てるという説明でしたが、その内容はどうなっていますか。

星田農業委員会会長 農地の集積及び遊休農地解消に係る農業委員会の実績に伴う成果割と、活動日数に伴う活動割があり、交付金の決定が3月にありますので、実際の交付額を農業委員及び農地利用最適化推進委員の人数で割ったものを支払うこととなります。

議案第41号 水川町報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正する条例について

米村議員 竜北福祉センター費 需用費の387万円の内訳で電気料257万円(当初予算

営協議会に変更されますが、構成員は現在のメンバーがそのまま新組織に移行する形で実績もあり、体制的にも問題がないところ、高評価となったと思われ

西尾議員 体制は充分に整っているのですか。

平山商工観光課長 整っています。

議案第48号 指定管理者の指定について(水川町竜北物産館)

西尾議員 質疑及び意見はありますか。

質疑は以上で、産業建設常任委員会に付託されました案件については、一部委員よりの指摘及び要望がありました。委員賛成で原案のとおり可決すべきものと決しました。

1025万円) 下水道使用料129万円(当初予算118万円)で使用料が多い理由は、

増永健康福祉課長 電気料金の増加につきまして、浴場給湯設備改修により、給湯器を灯油型より電気型システムに変更したことにより、次に、下水道使用料金の増加につきましては給湯設備の保守上、井水が使用できず上水道使用のため、浴場に使用した場合の下水道使用料金の単価が一立米あたり、井水27円が上水道135円となりその差額により予算の不足が見込まれるための補正です。

上田俊孝議員 竜北福祉センター浴室の一般者の利用時間は、

増永健康福祉課長 一般入館者の浴室の利用時間を平成29年10月1日から変更しています。

後1時まで、午後3時から午後10時まで、日曜日については、午前11時から午後10時までに変更になっています。

三浦議員 塵芥処理費、負担金補助金及び交付金の菊池市環境保全協力金は何ですか。

野田町民環境課長 熊本地震による災害廃棄物を菊池市内にある廃棄物処理場で処分するにあたり、菊池市が周辺環境整備及び熊本地震被災地の早期復旧・復興を図ることを目的として協力を求めるものです。仮置き場閉鎖後、菊池市にある廃棄物処理場に1900トンの最終残渣を搬出し処理しています。

米村議員 塵芥処理費、熊本地震損壊家屋解体撤去委託料の減額と、同じく損壊家屋解体撤去費用補助金については、

野田町民環境課長 本年8月末に、町発注による「損壊家屋解体撤去」が完了し、解体撤去の委託料が確定したために、予定額の残額を同項目の「負担金補助及び交付金」へ組み替えたもので

924,000円 町道東上宮6号線道路改良事業… 630,000円 町道南高野4線他道路改良事業… 1,164,000円

損壊家屋等解体撤去についてですが、解体撤去後、一般廃棄物が放置されたままの敷地があるがどういう対応をしているのか。

野田町民環境課長 そういった敷地の所有者と連絡を取り合っており、積極的に敷地内の清掃を促したりしたこともあります。改善が見られない所有者に対しては、今後も継続して指導・監督を実施していきます。

西尾議員 道路新設改良費・補償補填及び賠償金について、立木補償の内容、内訳についての詳細を教えてください。

前崎建設下水道課長 町道法道寺1号線道路改良事業…

924,000円 町道東上宮6号線道路改良事業… 630,000円 町道南高野4線他道路改良事業… 1,164,000円

立木補償費の金額(単価)については、九州地区用地対策連絡協議会の基準により、樹木の種類・幹高・幹回りで基準の単価があるためそれにより積算しています。立木補償は生育木であるのかについては、道路改良に必要な土地(宅地)にある庭木及び風致木です。

米村議員 住宅管理費、委託料についてですが、有佐駅前団地漏水調査業務委託料はどのような調査を行うのですか。

前崎建設下水道課長 特定優良賃貸住宅の有佐駅前団地A棟の1階部分4戸について、床下に溜まる不明水の調査業務と対応工法の選定を行う業務



有佐駅前団地

立神峡里地公園



当委員会に付託された案件につきまして、委員会における審査の結果並びに結果について、ご報告申し上げます。

当委員会に付託された案件は、予算1件、その他2件であります。

当委員会は、12月8日、役場2階大会議室で、関係課長より説明を求めながら審査を行いました。

議案第42号 「平成29年度一般会計補正予算（第4号）について」

吉川議員 これまでの合併特例債の借入額と借入可能額及び交付税の補填は70%ですか。

瀧岡企画財政課長 借入額は約31億円、残額は16億円で、充当率は95%、交付税の措置は70%です。
吉川議員 どの事業にも使えるのか、又、学校施設のエアコン設置にも使えるのですか。

瀧岡企画財政課長 新町

建設計画に基づく事業です。

清田議員 まちづくり酒屋保存整備事業はどういう内容ですか。

稲田総務振興課長 委託設計の追加で、レンガ壁の補修と内装の美装化工事分と合わせて、工期も延長します。

吉川議員 職員手当の不足は何ですか。

陳野総務課長 時間外勤務手当は平均的な実績額の平均を計算し不足分を見込んで計上しました。

吉川議員 バス対策補助金の当初との合計額はいくらかですか。青パトの助成とは何ですか。

陳野総務課長 当初の1,500万円と合わせて、16,331千円となります。また、青パトの助成は、日本財団から地域パトロール隊への助成が決定したので、町が不足分を助成いたします。
吉川議員 何路線分ですか。

陳野総務課長 氷川町4路線です。

採決の結果、全員賛成で、原案のとおり可決すべきものと決しました。

議案第51号 「指定管理者の指定について（氷川町まちづくり酒屋）」

吉川議員 非公募の理由の説明と公募での可能性はありませんか。

稲田総務振興課長 公募も考えられるが、この宮原まちづくり株式会社は各種団体等が出資し、活性化をはかるため設立されてきて、指定管理者として最適であると判断しています。

採決の結果、全員賛成で、原案のとおり可決すべきものと決しました。

議案第52号 「八代広域行政事務組合規約の一部変更について」

質疑及び意見はなく、採決の結果、全員賛成で、原案のとおり可決すべきものと決しました。

当委員会に付託されました案件は、以上であります。



まちづくり酒屋

全員協議会

全員協議会

◆農業委員制度改革について

農業委員会等に関する法律の一部改正に伴い、農業委員の選任方法が変更になること併せて、農地利用最適化推進委員が新設されることとなります。

そこで、全員協議会を開催し、制度改革の概要について、担当より説明を受けました。農業委員については、従来の選挙による選出から、推薦・応募による候補者を定め、議会の同意を得て町長が任命する方法に変更されます。

当町では、来年7月20日から新体制に移行することになり、農業委員14人、農地利用最適化推進委員13人を定数とする説明を受けました。今後、1月から2月にかけて募集を行い、農業委員につ

いては3月議会で同意を得るスケジュールとなっています。農地利用最適化推進委員についても農業委員と同じスケジュールで募集を行い、現任の農業委員で選考を行うこととなります。

◆第2次氷川町総合振興計画策定状況について

平成28～29年度の2カ年で策定中の平成30年度から10年間のまちづくりの指針となる「第2次氷川町総合振興計画」の進捗状況について説明を受けました。

総合振興計画は、住民と行政が一緒になって策定する体制をとっており、産業・福祉・教育・環境・地域の5つの分野に関連する団体の皆さままで構成されるワークショップや策定プロジェクト会議等においてご意見やご

提案をいただき、計画（素案）を作成されたものです。

計画（素案）は、基本構想・重点プロジェクト・基本計画で構成されており、第1次計画を基に見直しを行い、また社会情勢の変化を踏まえて新しい施策を追加しています。まちの将来像を「小さなまちで、大きな幸せを感じる 田園都市・氷川」とし、安心して暮らすことができ、幸せを実感できる氷川町を目指し様々な事業が計画されています。

今後、氷川町総合振興計画策定審議会からの計画（案）の答申を受け、3月議会上程し議決により3月末までの策定が予定されています。

◆今後の氷川町の「ごみ処理の方向性」について

八代生活環境事務組合クリーンセンターの今後の在り方について、担当課（町民環境課）より説明を受けました。

これまで、氷川町と八代市の一部（千丁町、鏡町、東陽町、泉町）のごみ処理をクリーンセンターで行っていますが、今後、八代市が建設中の「八代市環境センター」の運用開始に伴い、クリーンセンターでのごみ処理は氷川町が単独で行うことも予想されます。

そこで、今後のクリーンセンターの運用などについて、氷川町や八代市八代生活環境事務組合の三者で協議している内容の説明を受けました。

【内容】
今後、八代市のごみを全量、八代市の環境センターで処理することで氷川町が単独でクリーンセ

ンターを利用することになれば、生活環境事務組合規約の改正が必要になること。

また、今後クリーンセンター運営の負担金の割合が変わってくる（八代市はごみ処理をしなくても負担金が発生します）こと。

規約の改正には、氷川町と八代市の「同文議決」が必要になること。

そして、それらの全体スケジュールのこと。さらには、将来、クリーンセンターの最終処分場が埋め立て完了した時には、氷川町のごみ処理を八代市の環境センターに事務委託したいので、そのために「八代市・氷川町循環型社会形成推進協議会」を平成29年9月5日に立ち上げたこと。

この協議会の最終目的は、ごみ処理の広域化の

考え方に基づき、八代市と氷川町による新しい「地域計画」を策定し、氷川町のごみを八代市環境センターで処理すること。

但し、現在の八代市と氷川町のごみの量では、八代市の新しい環境センターでの1日の処理量がオーバーするため、現状では難しい。

そのため、今後、八代市と氷川町のごみの更なる減量化を推進する必要がある。協議会で状況の把握や調整を図りながら、氷川町でのごみの処理についてのあらゆる改善策の検討を進めていきたい。

【今後】
状況に新たな展開があれば、「議会たより」でお知らせしたいと考えています。



これから4年間氷川町の経済振興と暮らしやすさ 安全安心のまちづくりを皆さんと共に目指します！

新議員 抱負



上田 健一
(72歳)
東網道

3期12年の経験を活かして、町の基幹産業であります農業振興はもちろん、商業の活性化、社会福祉の充実等に町民の皆様の声が届く、町政を目指すことに、豊かで住みよい町づくりのため、誠意を持って全力でとりくみます。



片山 裕治
(58歳)
町

町民のみなさまの
代表として！
議会議員の使命であります、政策形成過程及び政策の実施の過程に多面的に参画し、行財政の運営や事務処理ないし事業の実施が適法・適正・公平・効率的に、そして民主的にできるよう議員一丸となって努めて参ります。



吉川 義雄
(67歳)
早尾北

私の抱負
熊本地震から一日も早い復興と再建をめざし、被災者の皆さんの声を傾け、一緒になって頑張ります。
私は、
①議会の改革・刷新に努め、議会報告を行います。
②地震や災害に強い、安心で安全なまちをめざします。
③住民が主役のまちづくりをめざします。
④町民の声が届く議会・町政をめざします。
議会の使命は、行財政が公平・民主的に行われているかを監視することです。私は、チェック役として全力で頑張ります。



長尾憲二郎
(69歳)
北鹿野

町民の目線で情熱を持ち、誠実に行政と向き合い、調和と行動力で頑張ります。
一、基幹産業の農水商産業の振興
(後継者の育成と定住できる町づくり)
二、教育環境の整備
(明るい未来の為に子育て生涯教育の充実)
三、社会福祉の充実
(高齢者に安心安全な町づくり)



松田 達之
(72歳)
北野津

誠実・実行力・情熱
①「熊本震災の復興」に全力を注いでいきます。
②若い人達が将来安心して「農業」に打ち込める農政を。
③「町道・農道・排水路」の整備に力を注ぎ、生活環境の改善を目指します。
④「老後の不安」をなくす政策に力を入れます。
⑤「子育て・教育・学費」の心配をなくすよう全力を挙げます。
⑥「医療・福祉」の充実を図り高齢者対策に力を注ぎます。



米村 洋
(70歳)
南鹿野

皆様のご支援を頂き、再度議会に送って頂き責任・責務の重さを感じます。
私の目標である
「即実行・即決断・住民主役の町づくり」を目指し、主権在民の立場に立って声なき声を聞き、生命財産を守り、人権を尊重し、安心・安全な生活環境を強力に推進し、「一球入魂・不惜身命」の精神で頑張って参ります。



清田 一敏
(69歳)
下宮

この4年間を振り返って、町政の運営と安定の根幹は議会にあるということに強く感じました。そのためにも日々研鑽に励み、町民の皆様の負託と信頼に応える議会を目指して参ります。私達議員は町政のチェックを果たすことはもとより町民の声の代弁者としての役割も担っており、まず現場をよく知り声なき声にも耳を傾けながら町民の皆様が幸福を実感できる町を目指して参ります。



河口 涼一
(62歳)
西上宮

私はこれまでの4年間、毎議会必ず発言し、一般質問をし、そのために一生懸命勉強してまいりました。これからは、次の世代が主体となり、また次の世代が住みたいと思うような「町づくり」を進めなければなりません。そのために働きます。責任を果たします。



三浦 賢治
(69歳)
西野津

これまでの実績と経験を活かし、町民の皆様が幸せを実感できる町づくりを行おうと実現。
基幹産業の農業を魅力ある未来型農業に構築し、福祉の充実を促し、氷川町に元気と活力を与え、若い人に夢と希望を抱けるような町づくりのため頑張ります。
◆集落内の道路・排水路を整備
◆農産物の6次産業に努め所得倍増
◆担い手育成し経営の安定化
◆商品開発を促進し商工業に活気
◆子育て支援と学校給食の無料化
◆教育環境を整備し生徒の学力向上
◆高齢者に優しい町づくりの実現
◆企業の農業参入を誘致し雇用促進



上田 俊孝
(64歳)
西上宮

夢と希望のある地域づくりを！
町民がご真ん中
☆親孝行する町創り
☆教育熱心な町創り
☆安全安心な町創り
働きは最上の喜びをモットーに町民皆様のために一生懸命奉仕させていただきます！感謝



木下 厚
(70歳)
西野津

私の抱負
農業・商業の活性化
後継者不足と高齢化に対して、カントリーの利用を通して機械のリース事業と水稲・野菜の育苗事業に、JAと行政で取り組みます。少子化対策として結婚を望む方のため、行政に窓口を開設できるよう取り組みます。



西尾 正剛
(64歳)
新村北

議員としては全くの新人ですが、長年の役場勤務とは別の視点で、町民の皆さまのお役に立てるよう、次の三点をスローガンに掲げ全力で邁進します。
①住民のために動きます。
37年間の行政経験を活かし、住民の声を反映するよう行動します。
②行政支援に動きます。
人口を維持するため、子や孫が安心して住み続けられるような環境整備や福祉の充実のため行動します。
③議会のために動きます。
議会を活発な議論の場に、町の発展につなげるよう行動します。

(年齢は30・2・1現在)

氷川町文化協会 加盟団体紹介

姉 妹



左から 小田原美栄子さん 宮村信子さん

染色を得意とする妹と、写真に興味がある私がそれぞれの作品を氷川町の文化祭に展示して、町内の皆様に喜んでもらえたらと思い、作った会です。



作品 小田原美栄子

「染色」のきっかけは大きくなりすぎた「アロエ」です。捨てるのが可愛そうで、「草木染め」が閃きました。やった事はありません。葉をどろどろの汁につけ失敗。根は鍋で煮て薄い桜色の液体ができ感動。しかし染色はできず、またまた大失敗。おかげで染色の実験が始まり、7年たった今、木綿専用の染色法に至りました。楽しさ半分悩み半分ですが展示は励みの原動力で、「きれい」と感じていただける作品を届けられたら嬉しいです。



作品 宮村信子

まずは、写真についてお話しします。写真は一つの物語だと言われているので、私は自分のテーマを「小さな幸せ」と決めて、自然の風景の中での親子、友達、恋人同士や咲き誇る花々などのシャッターチャンスをおねらい、感性を磨くことに心がけています。



編集後記

氷川町議会が発行する議会だよりを毎回読んでいただき、ありがとうございます。

選挙後の新しい議会後初めての議会だよりとなりますが、新人二人が議会広報委員会の正副委員長を務めることとなりました。これは、議会構成や議会運営の手続き、一般質問の答弁取りまとめや会議の

流れ等を早く勉強できるようにと打診を受けてのことでした。

震災復興に向けて様々な動きや関連した予算の規模となっていますが、議会だよりは、今の町の状況や議会の取り組みを町民の皆さまにわかりやすくお伝えして知って頂くことと考えています。

これから広報委員一丸となり頑張りますのでよろしくお願いいたします。

西尾委員長ほか委員一同

発行責任者 議長 上田 健一
委員長 西尾 正剛 副委員長 木下 厚
委員 片山 裕治 委員 清田 一敏



表紙の ひとこと

1月7日に新村地区でも“どんどや”が行われました。午前11時にいぬ年生まれの人達により点火。参加した子ども会のみなさんをはじめ、たくさんの人達にだご汁がふるまわれました。

次号は平成 30 年 5 月発行予定